



毎日、発明する会社

2020年4月期

第2四半期決算説明資料

フリービット株式会社

2019年12月13日

1. 2020年4月期 第2四半期 連結業績 . . . 3
2. 2020年4月期 第2四半期 セグメント別業績及び事業進捗 . . . 17
3. 2020年4月期 連結業績進捗 . . . 32

## 略称について

略称	社名及び説明
FB	フリービット(株)=当社
FBG	フリービットグループ
ALC	(株)アルク=完全子会社
DTI	(株)ドリーム・トレイン・インターネット=完全子会社
FBEPH	(株)フリービットEPARKヘルスケア=子会社
FBEPHG	フリービットEPARKヘルスケアグループ
FBI	フリービットインベストメント(株)=完全子会社
BI	(株)ベッコアメ・インターネット=完全子会社
TM	トーンモバイル(株)=旧持分法適用関連会社で現DTI
FS	(株)フルスピード=東証二部上場の子会社
FSG	フルスピードグループ
FI	(株)フォーイット=(株)フルスピードの完全子会社
CR	(株)クライド=(株)フルスピードの完全子会社
FSL	(株)フルスピードリンク=(株)フルスピードの完全子会社

略称	社名及び説明
GP	(株)ギガプライズ=名証セントレックス上場の子会社
GPG	ギガプライズグループ
FM	(株)フォーメンバーズ=(株)ギガプライズの子会社
SV	(株)ソフト・ボランチ=(株)ギガプライズの完全子会社
GT	(株)ギガテック=(株)ギガプライズの完全子会社

略称	セグメント名
Infra	インフラテック事業
RET	不動産テック事業
ADT	アドテック事業
HT	ヘルステック事業
ET	エドテック事業

# 1. 2020年4月期 第2四半期 連結業績

---

# 2020年4月期 第2四半期 連結業績

(単位：百万円)	20年04期 第2四半期	19年04期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	<b>27,094</b>	21,497	+ 5,596	26.0%
EBITDA	<b>1,950</b>	1,628	+ 321	19.8%
営業利益	<b>986</b>	1,013	△26	△2.6%
経常利益	<b>908</b>	734	+174	23.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△ <b>181</b>	9	△191	—
1株当たり純利益	△ <b>8円20銭</b>	0円42銭	△8円62銭	—

**2020年4月期第2四半期連結業績は、エドテック事業開始及び不動産テック事業のマンションインターネットが堅調に推移したことにより前年同期比売上高26.0%増**

- ・売上高：エドテック事業開始及び不動産テック事業の拡大により増収
- ・営業利益：エドテック事業の季節要因及びアドテック事業利益減により前年同期比2.6%減
- ・経常利益：エドテック事業を除く営業利益増及び持分法による投資損失減少等により前年同期比23.7%増
- ・親会社株主に帰属する：経常利益増も法人税等及び非支配株主に帰属する四半期純利益の増加により前年同期比191百万円減



連結業績

- ・売上高は、エドテック事業開始及び不動産テック事業の拡大により前年同期比26.0%増
- ・営業利益は、前第3四半期に開始したエドテック事業の季節要因及びアドテック事業の利益減により前年同期比2.6%減



インフラテック事業

- ・トーンモバイル事業をCCCグループより承継（12月1日付）アルプスアルパイン(株)及びDTIと連携し、CASE/MaaS市場への取り組みを加速



不動産テック事業

- ・マンションインターネットが牽引し前年同期比売上高52.0%増、セグメント利益大幅増を達成



ヘルステック事業

- ・FBEPHの成長により売上高は順調に推移し、前年同期比5.2%増
- ・FBヘルステック事業の体制強化等によりセグメント損益は前年同期比114百万円減

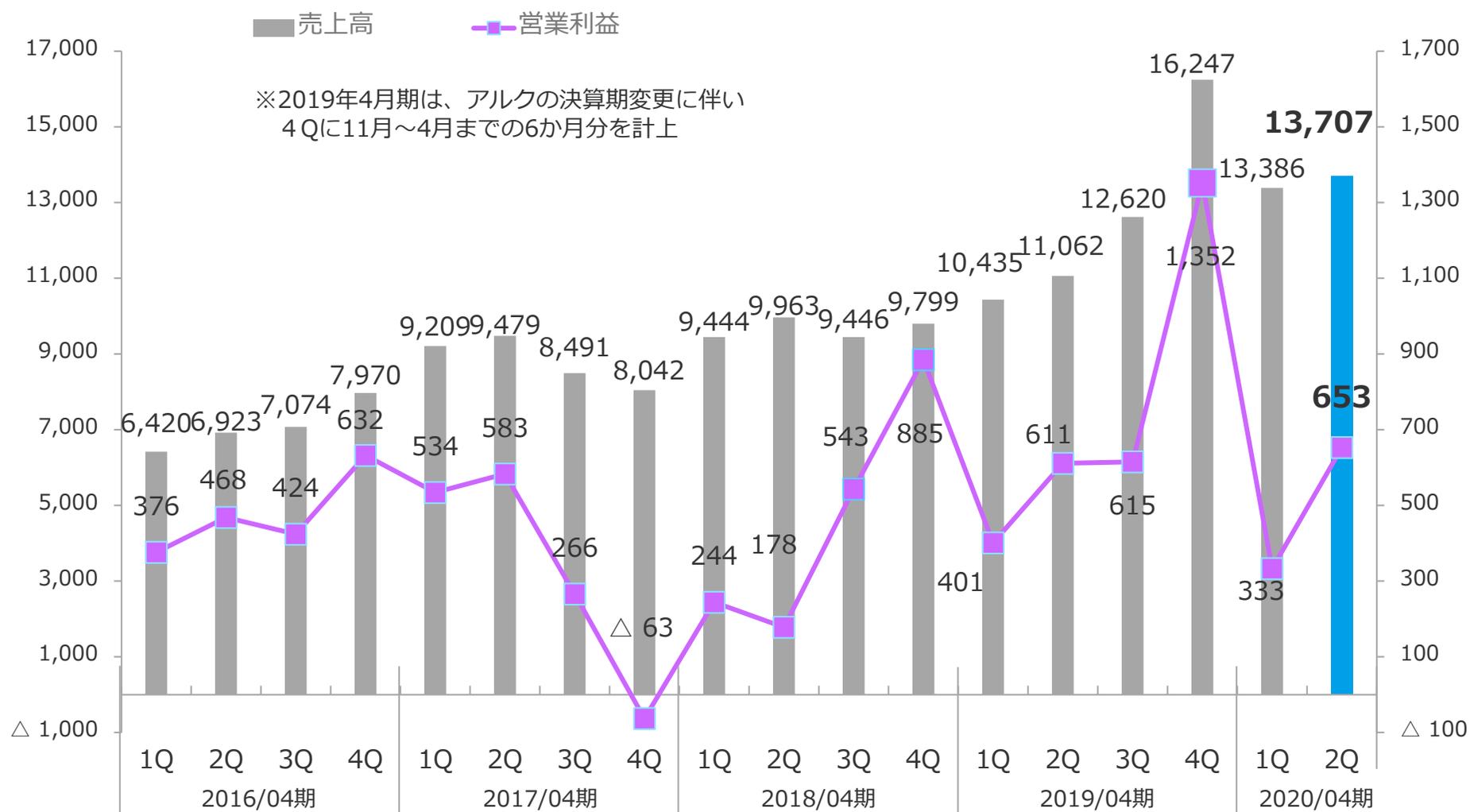


エドテック事業

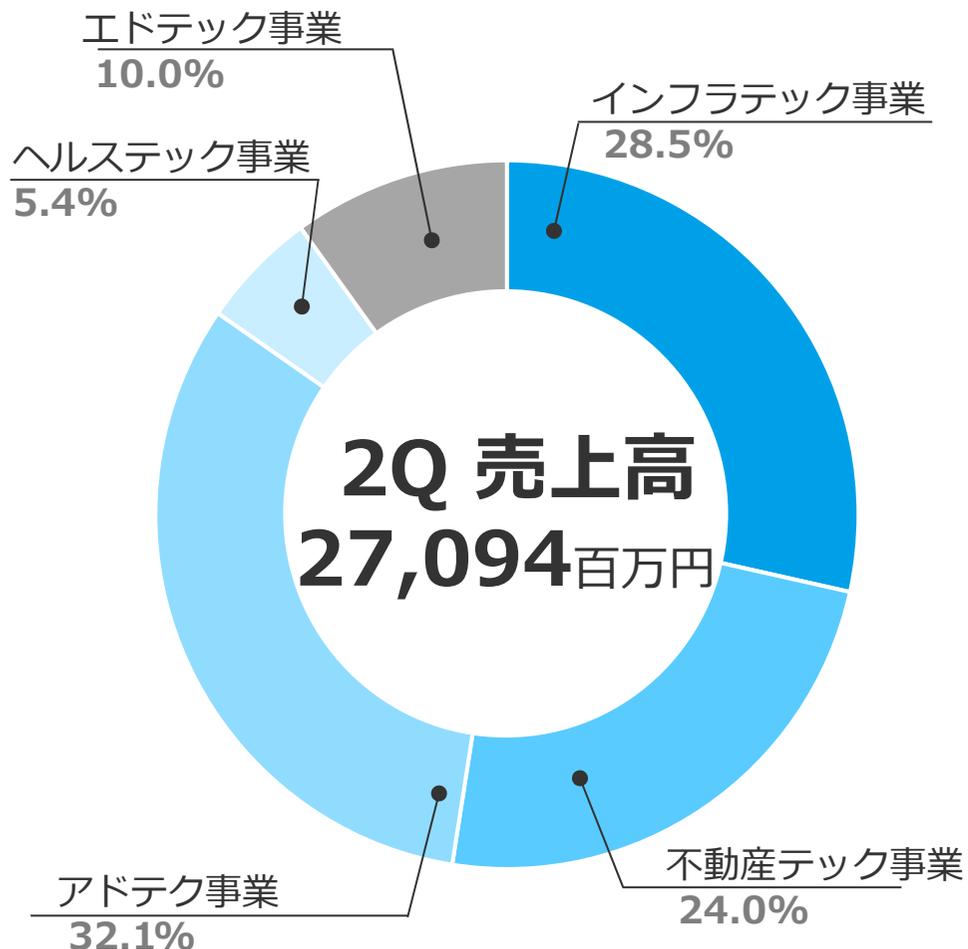
- ・書籍販売等が堅調に推移し増収に貢献。損失を計上するも第4四半期に利益が集中するビジネスモデルのため通年では黒字を計画

## 売上高は前年同期比26.0%増を達成

(単位：百万円)



## 不動産テック事業の拡大が増収を牽引

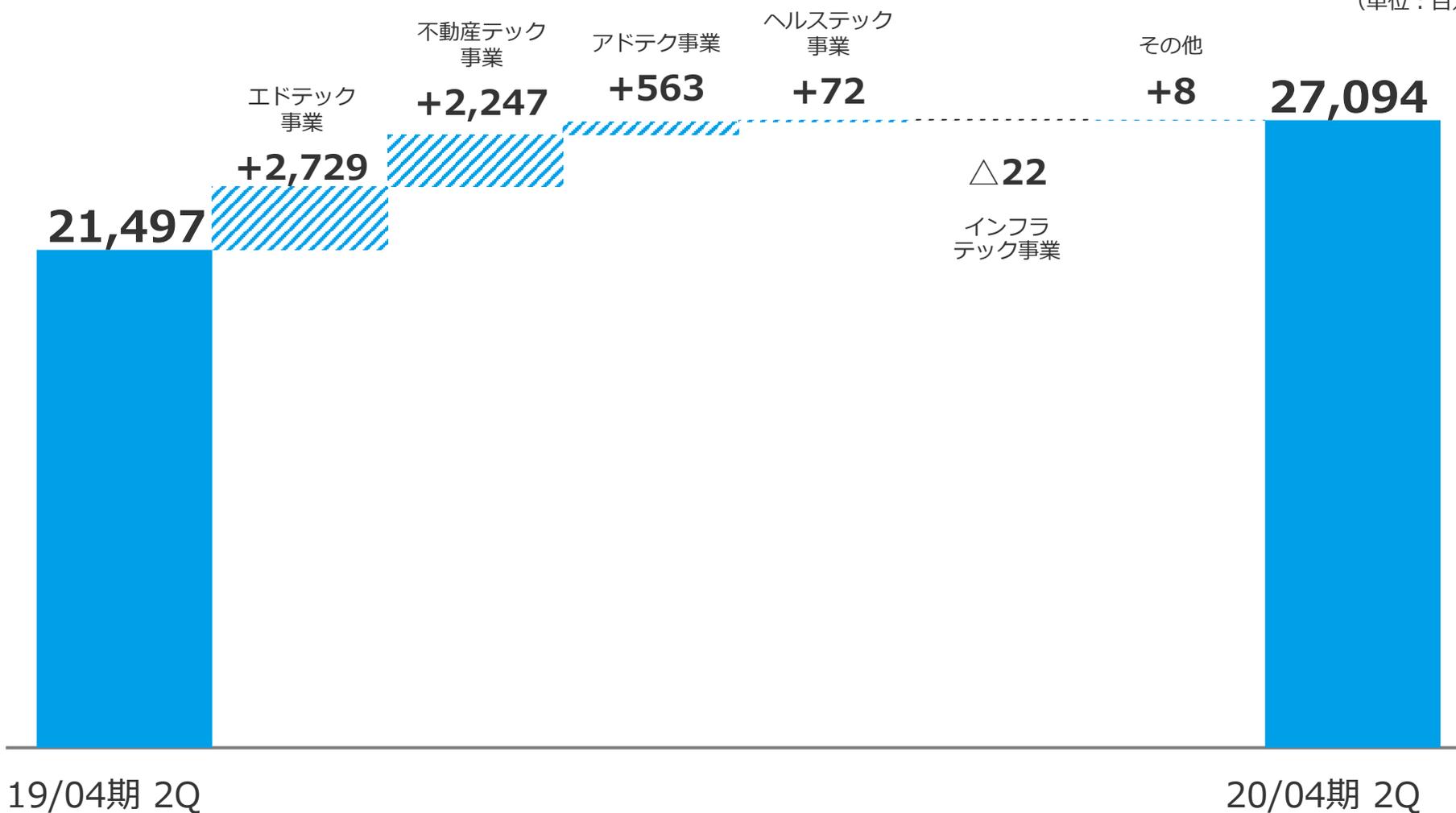


売上高	セグメント損益
<b>インフラテック事業</b>	
7,798 百万円 YoY $\Delta$ 0.3%	345 百万円 YoY $\Delta$ 20.5%
<b>不動産テック事業</b>	
6,565 百万円 YoY +52.0%	780 百万円 YoY +321.1%
<b>アドテック事業</b>	
8,793 百万円 YoY +6.8%	390 百万円 YoY $\Delta$ 28.6%
<b>ヘルステック事業</b>	
1,474 百万円 YoY +5.2%	$\Delta$ 281 百万円 YoY $\Delta$ 114百万円
<b>エドテック事業</b>	
2,729 百万円	$\Delta$ 258 百万円

※エドテック事業については、事業開始が前第3四半期のため前年との比較は省略

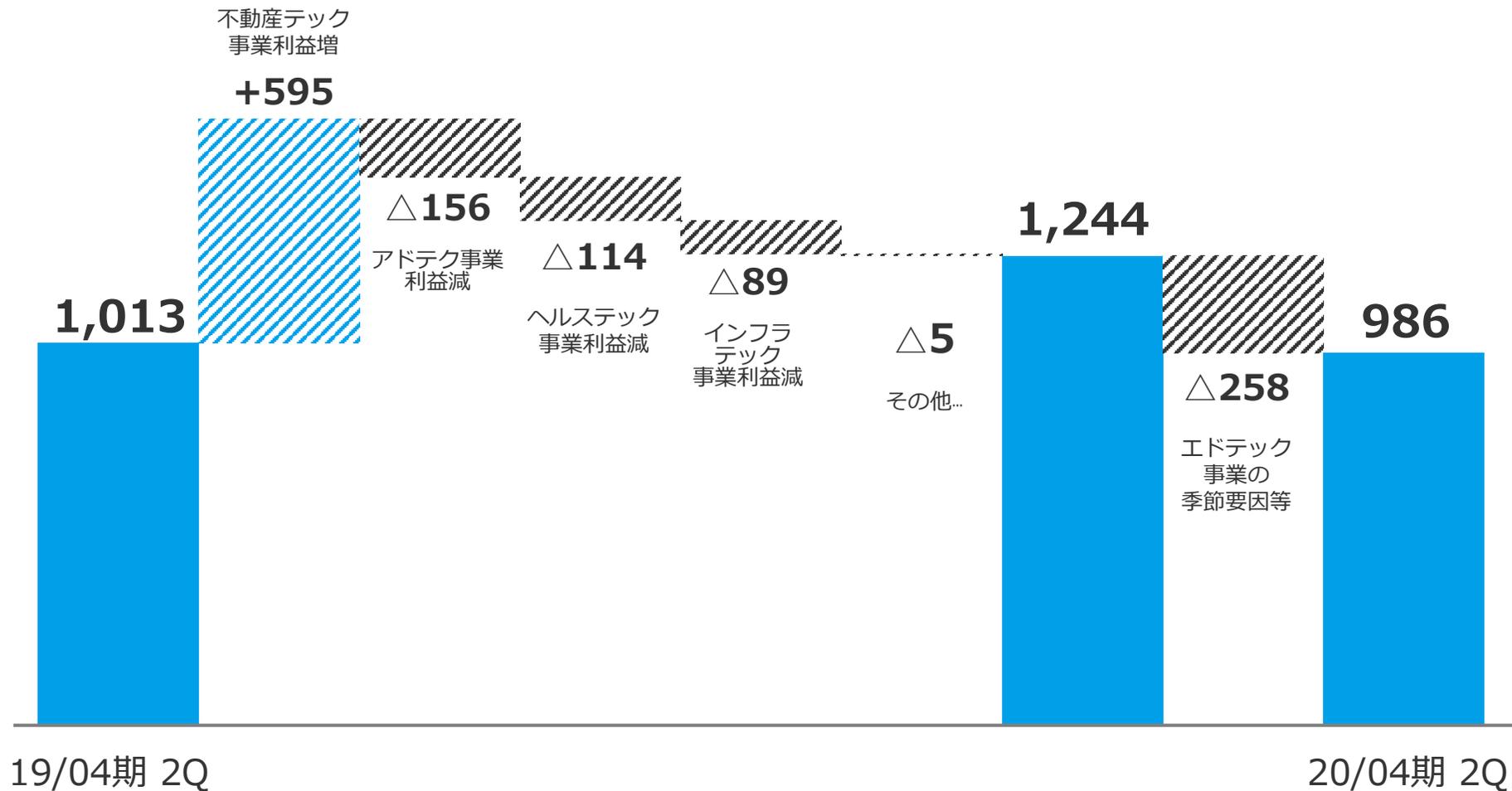
エドテック事業開始による売上増に加え、不動産テック事業の拡大により前期比26.0%増

(単位：百万円)



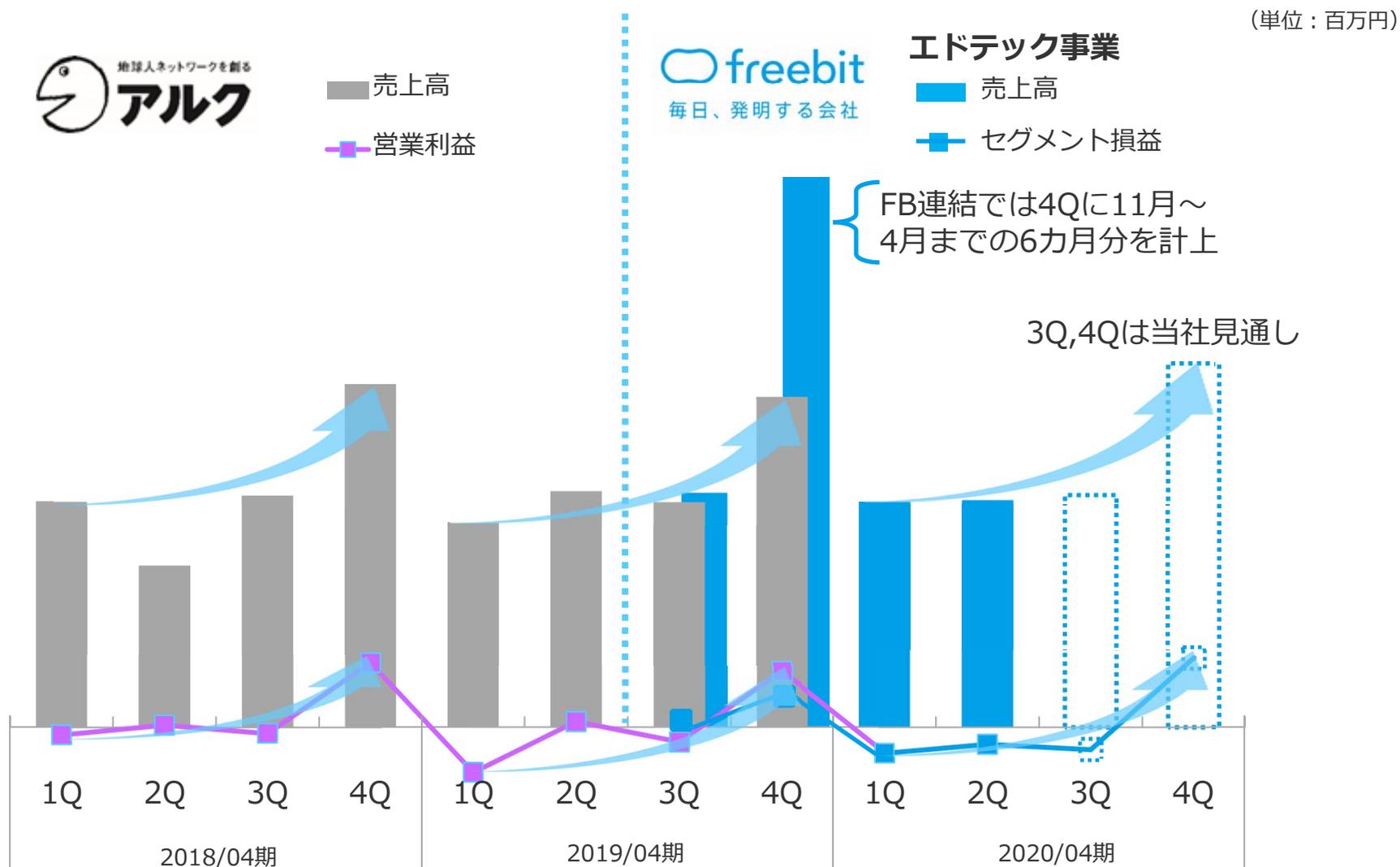
## エドテック事業の季節要因及びアドテック事業利益減等により 前年同期比2.6%減

(単位：百万円)



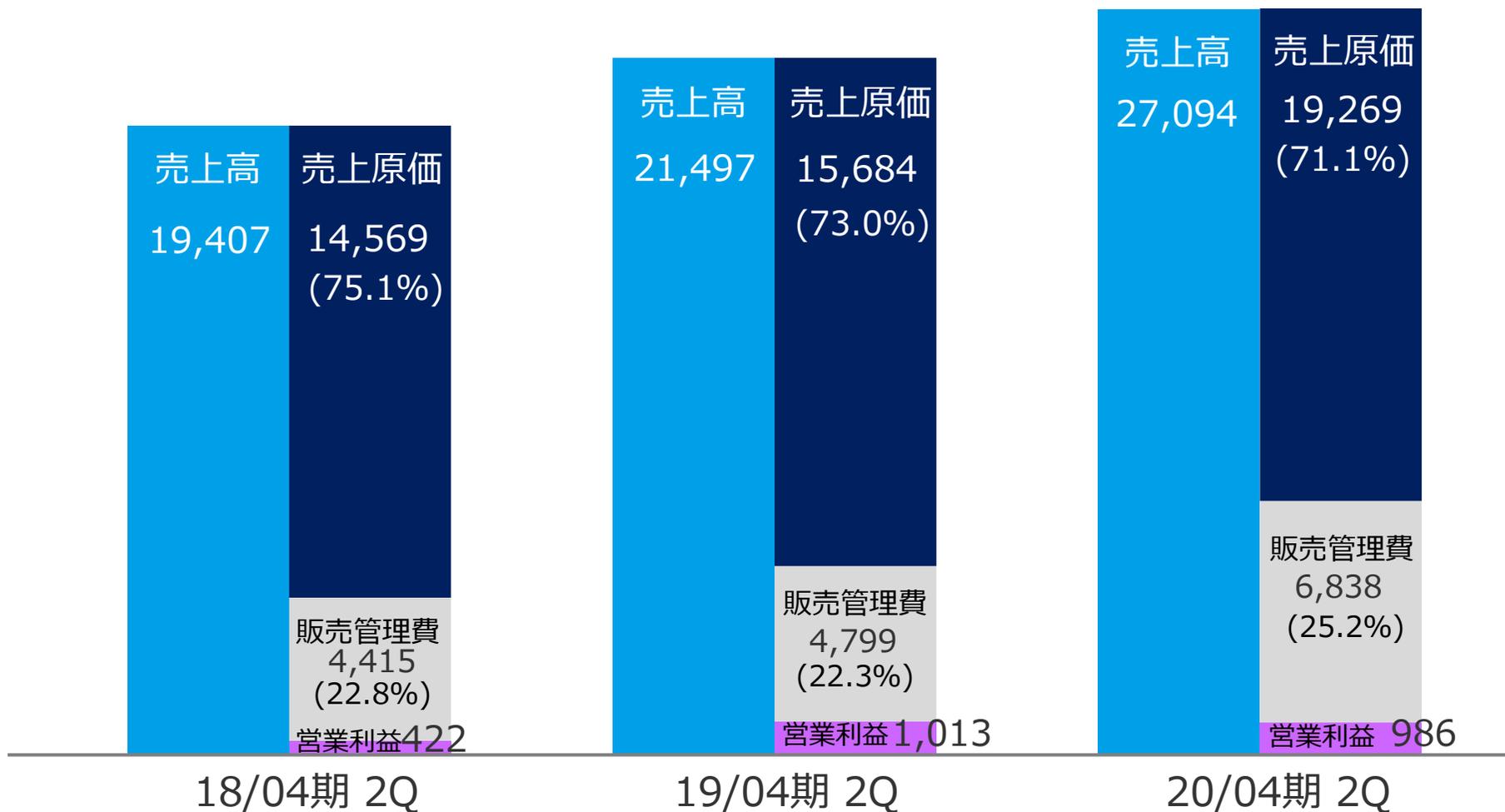
# エドテック事業の季節要因について

教育向け出版事業は下期(4Q)偏重型のビジネスモデルのため  
通年では黒字を計画



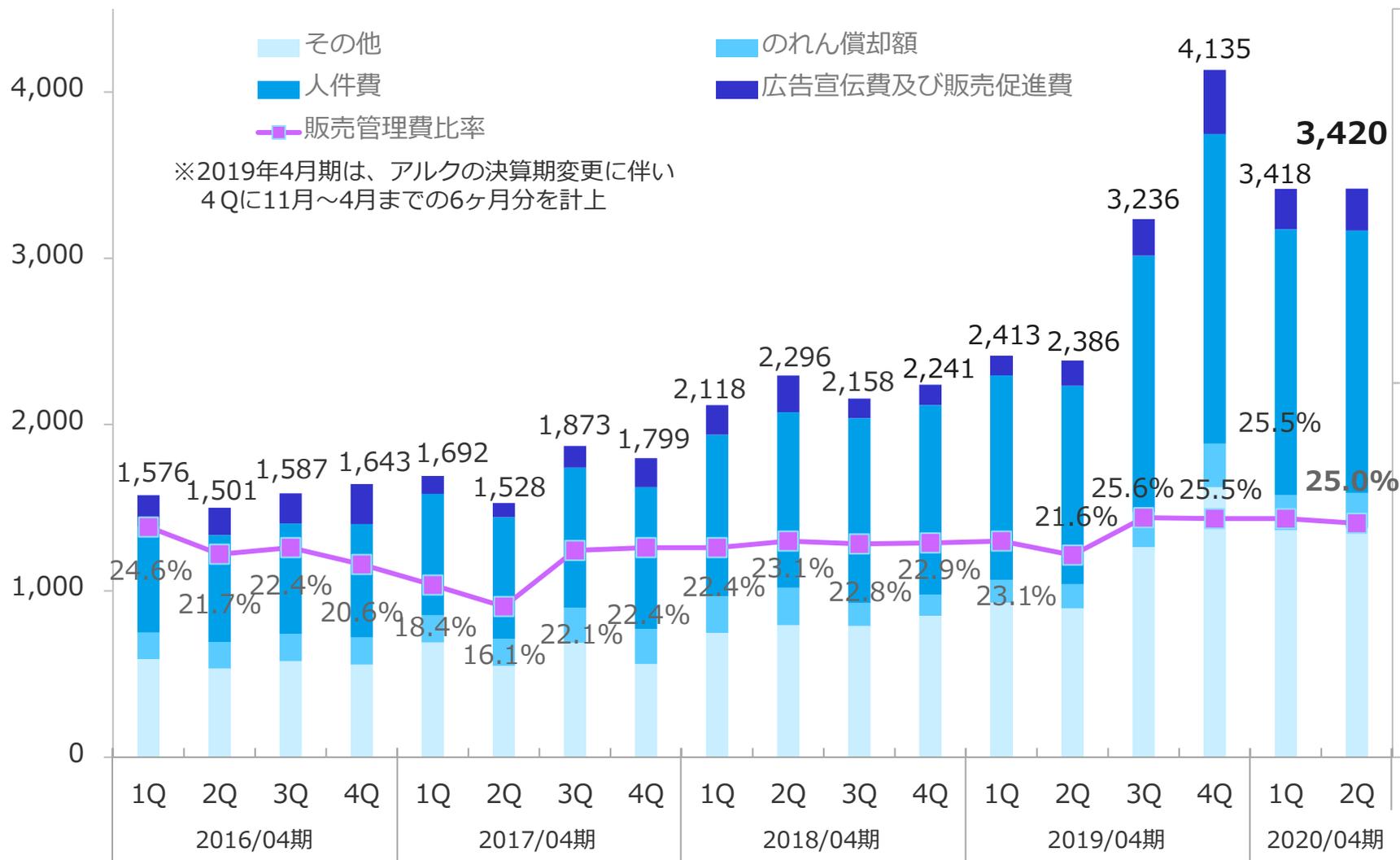
## エドテック事業開始に伴い、事業規模が拡大

(単位：百万円)



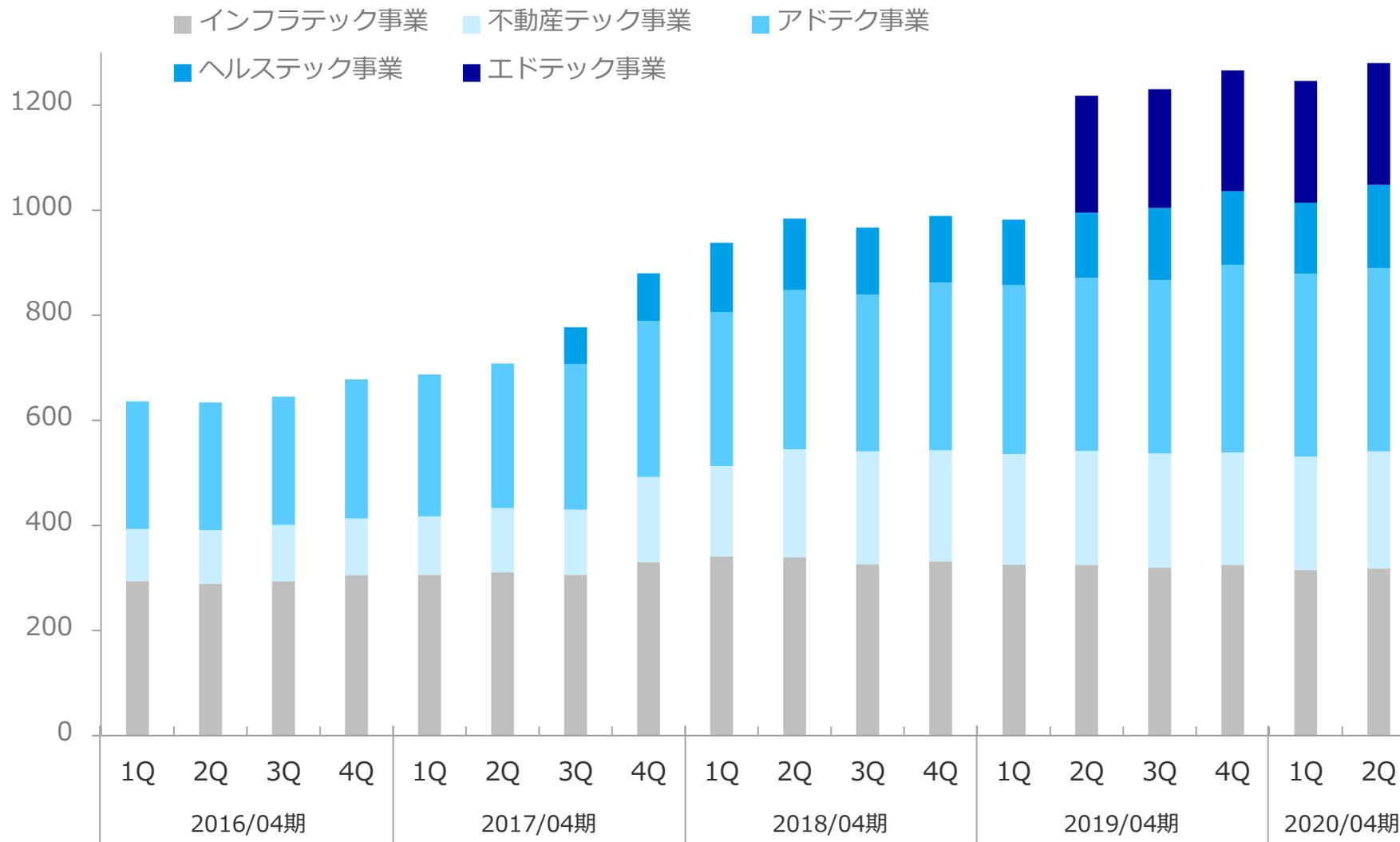
## エドテック事業開始に伴う人件費及びのれん償却額増により 前年同期比42.5%増

(単位：百万円)



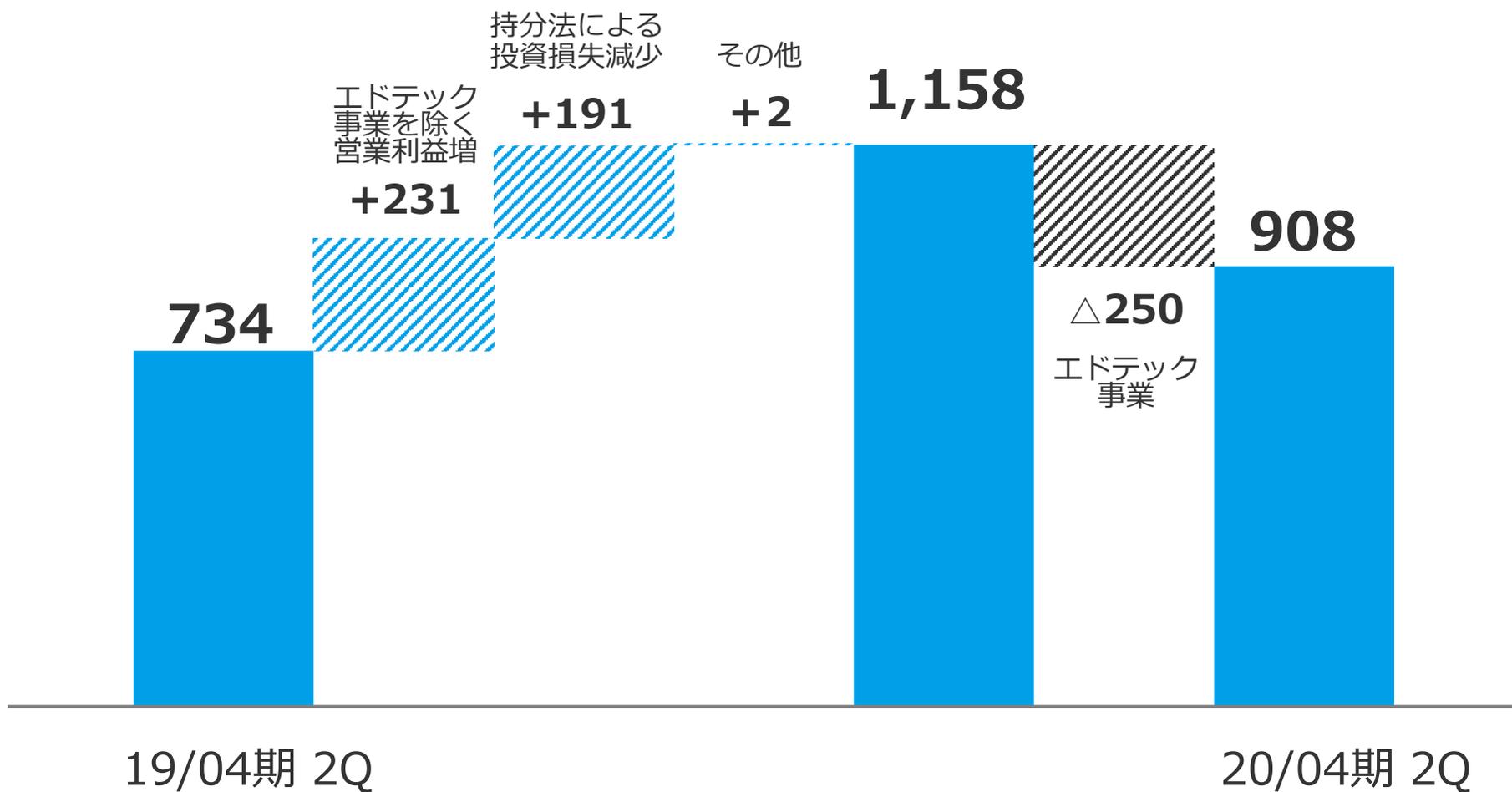
## ヘルステック事業体制強化により、従業員数は微増

(単位：人)



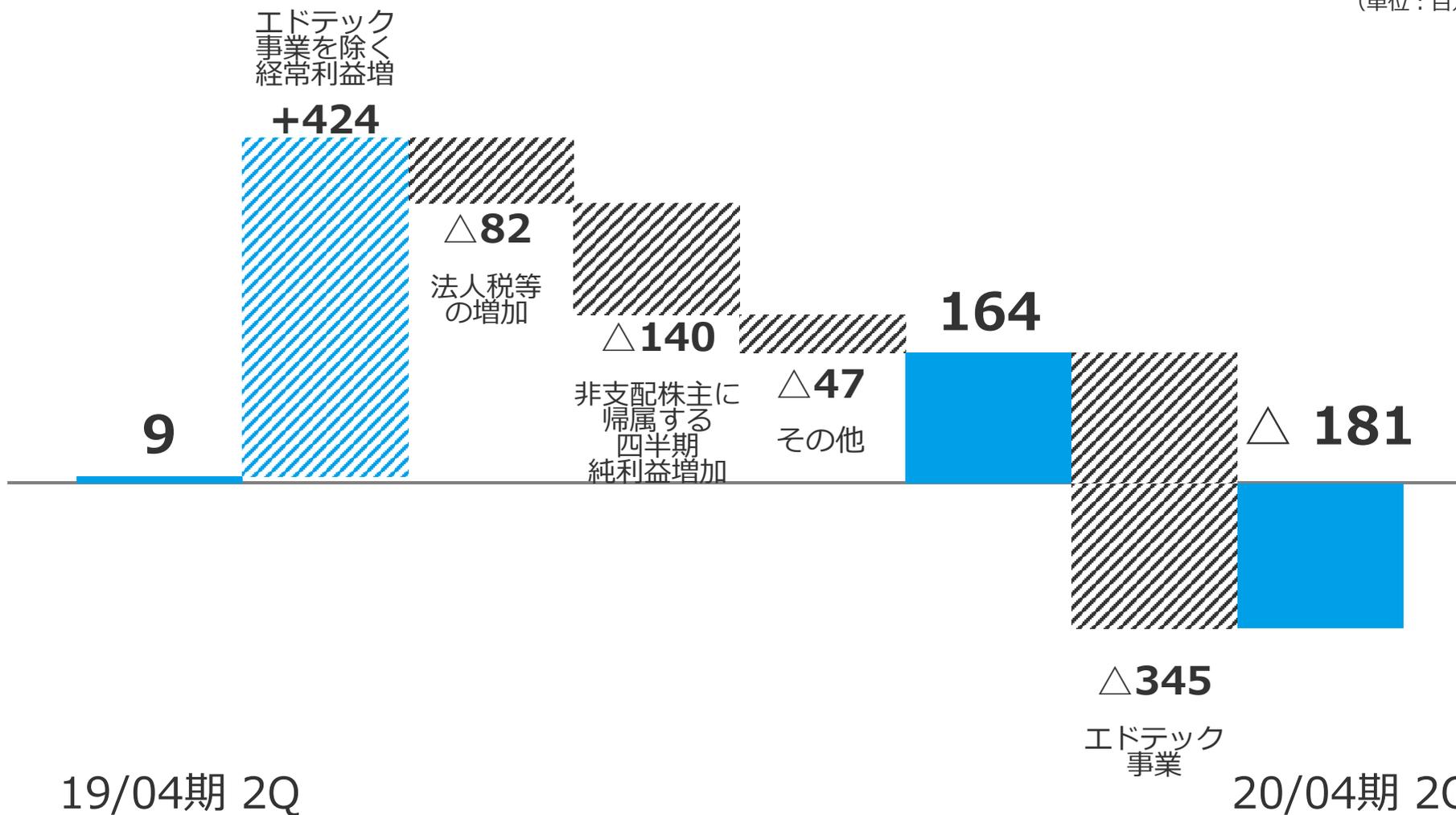
## 持分法による投資損失減少等により前期比23.7%増

(単位：百万円)



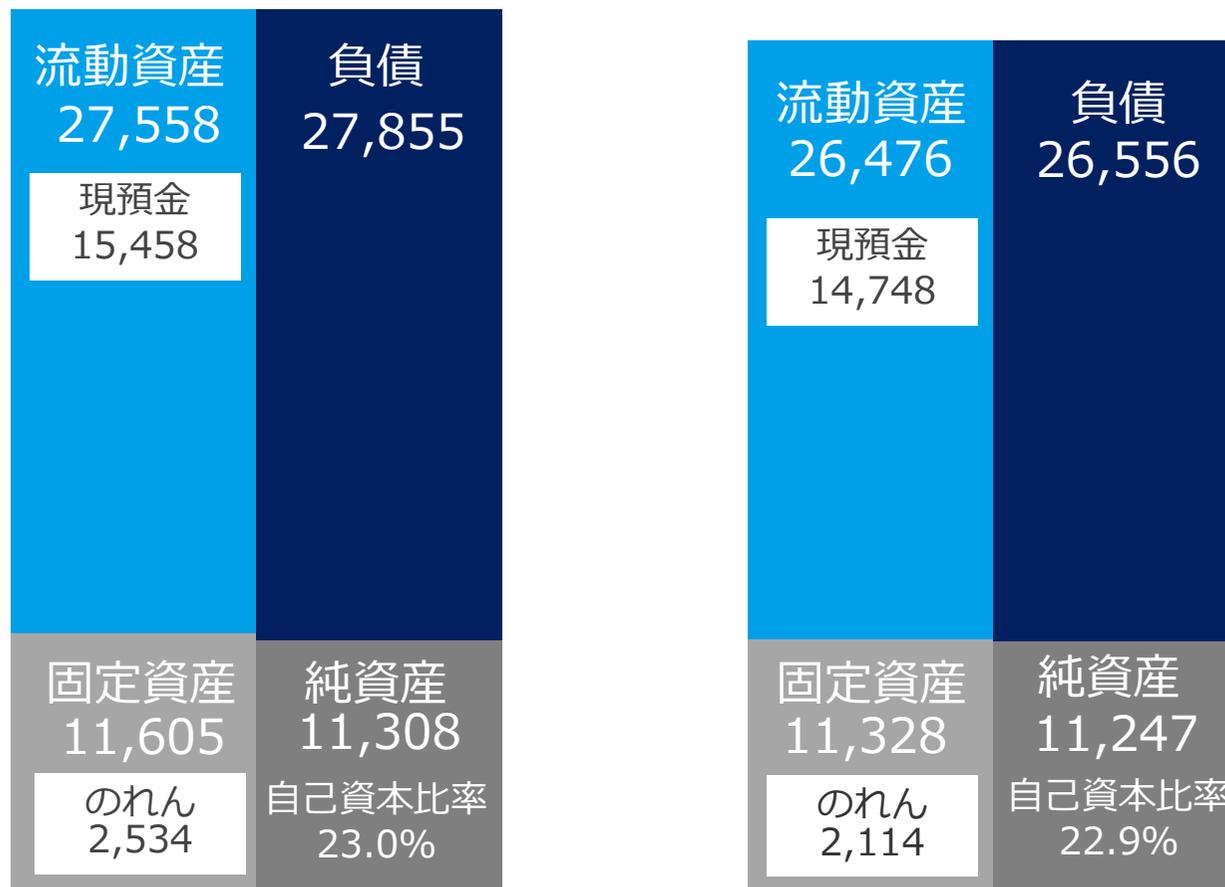
## 非支配株主に帰属する四半期純利益増加等により前年同期比 191百万円減

(単位：百万円)



のれん16.6%減、負債4.7%減

(単位：百万円)



19/04期 期末

20/04期 2Q

## 2. 2020年4月期 第2四半期 セグメント別業績及び事業進捗

---

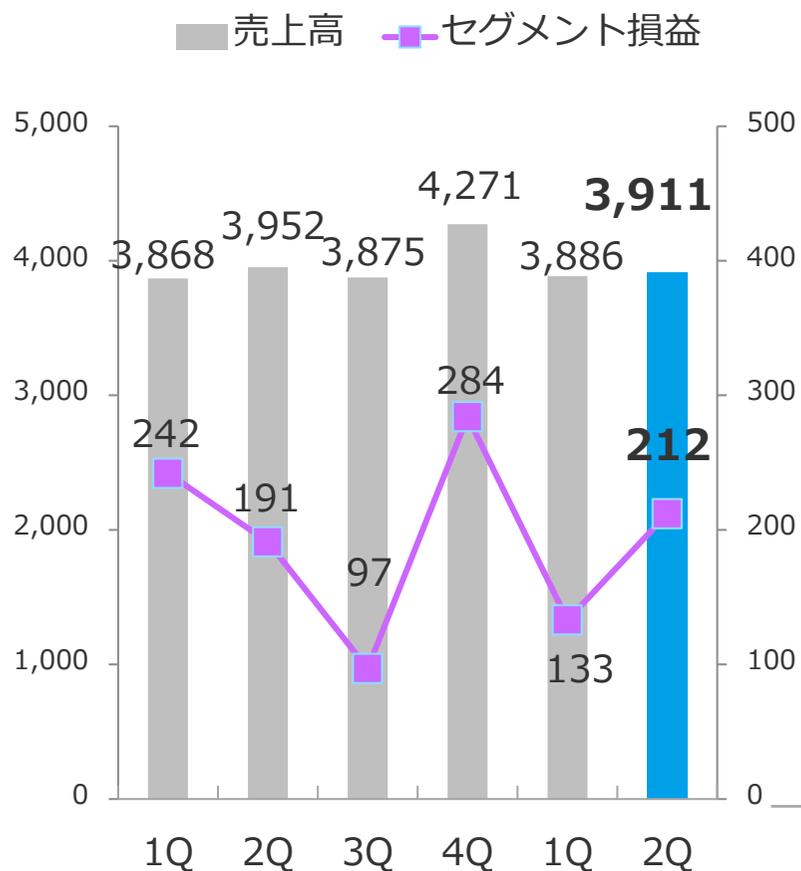
## 前年同期比 売上高0.3%減、セグメント損益20.5%減

固定網利益減等により減益

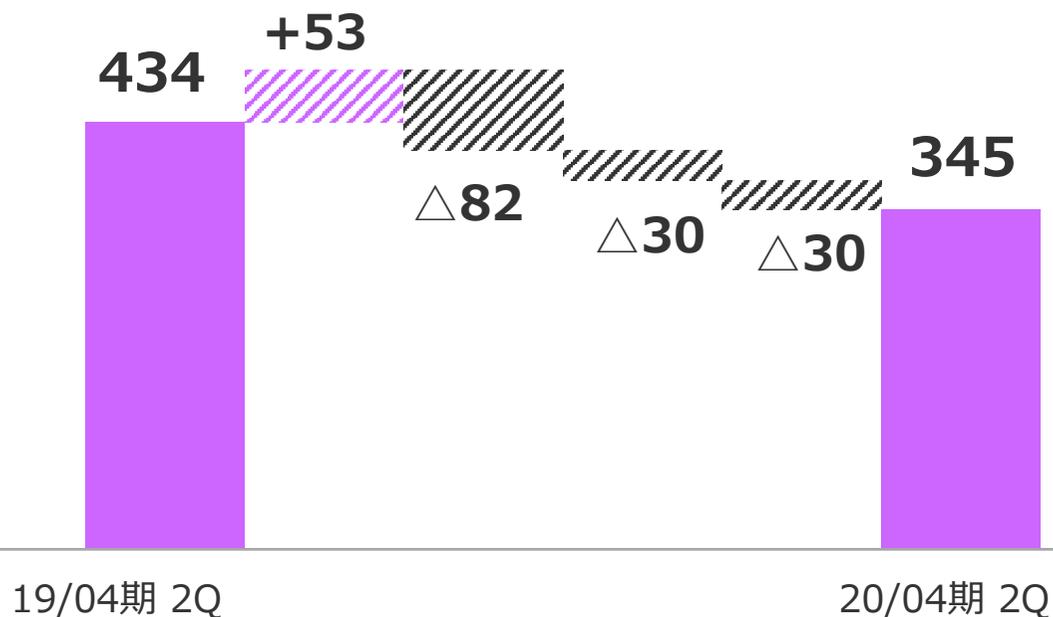
(単位：百万円)

### 売上高・セグメント損益

### セグメント損益前期比差異分析



- +53** クラウド売上増による利益増
- △82** 固定網利益減等
- △30** モバイル売上減等による利益減
- △30** その他



## DTIがトーンモバイル(株)より全事業を承継

「トーンモバイル事業」及び「通信プラットフォーム事業」等を承継し  
事業ポートフォリオの最適化を図る



### 10月17日発表

  
2019年10月17日

各 位

会 社 名	フ リ ー ビ ッ ト 株 式 会 社 (コード番号 3843: 東証 第一部)
本 社 所 在 地	東 京 都 澁 谷 区 円 山 町 3 番 6 号
代 表 者	代 表 取 締 役 社 長 田 中 伸 明
問 合 せ 先	執 行 役 員 グ ル ープ 経 営 管 理 本 部 長 和 田 育 子
電 話 番 号	0 3 - 5 4 5 9 - 0 5 2 2 (代 表)
	(URL <a href="https://freebit.com">https://freebit.com</a> )

**当社連結子会社における会社分割（吸収分割）による事業の承継  
及び  
これに伴う当社業務提携の解消に関するお知らせ**

当社連結子会社の株式会社ドリーム・トレイン・インターネット（以下、「DTI」）は、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（大阪府大阪市、代表取締役社長：増田宗昭、以下、「CCC社」）の連結子会社であるトーンモバイル株式会社（以下、「TONE社」）の全事業について、会社分割（吸収分割）により承継すること（以下、「本件分割」）を決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、CCCグループは、2019年6月10日付で、同社グループが保有していた当社全株式をアルプスアルパイン株式会社に譲渡しておりますので、当社はこの本件分割をもって、CCC社との間で締結しております業務提携契約についても解消することを決議いたしましたので合わせてお知らせいたします。

下記を目的として2019年12月1日をもって統合を実行  
今後の事業展開については随時公表

1. BtoC事業の拡大
  - ・マーケティング強化による販売力向上
  - ・ブランディング戦略の一元化
2. アルプスアルパイン(株)との協業事業の拡大
  - ・CaaS領域における革新サービスの提供
  - ・最先端テクノロジーの他事業への展開
3. 運営効率化による収益性の向上
  - ・事業リソースの最大活用
  - ・業務機能の統合



## CASE/MaaS時代の「シームレスカーライフ」実現に向けアルプスアルパイングループとの連携を加速



シームレスカーライフ  
の実現へ

### TONE MOBILE



「TONE Platform」第1弾  
子育て家族のカーライフを  
支援するアプリを発表

2018.9

インターネット/IoTインフラの  
改ざんリスク対策の基礎技術  
「The Log」を発表

2019.7

ブロックチェーン技術を  
活用した「デジタルキー」  
基礎技術を共同開発

2019.1

アルプスアルパイン(株)  
と包括的提携を発表

アルパイングループはテレマティクス領域の開発環境として「ServersMan SiLK OS」を採用



2013.7

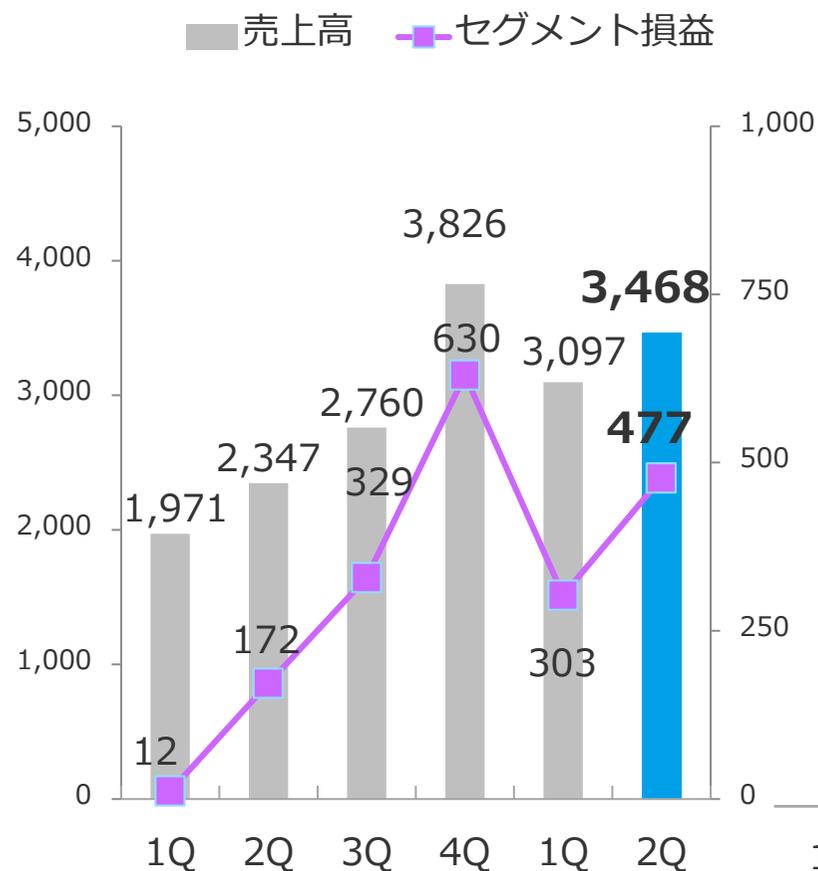
## 前年同期比 売上高52.0%増、セグメント利益大幅増

マンションインターネットの堅調な推移により増収増益

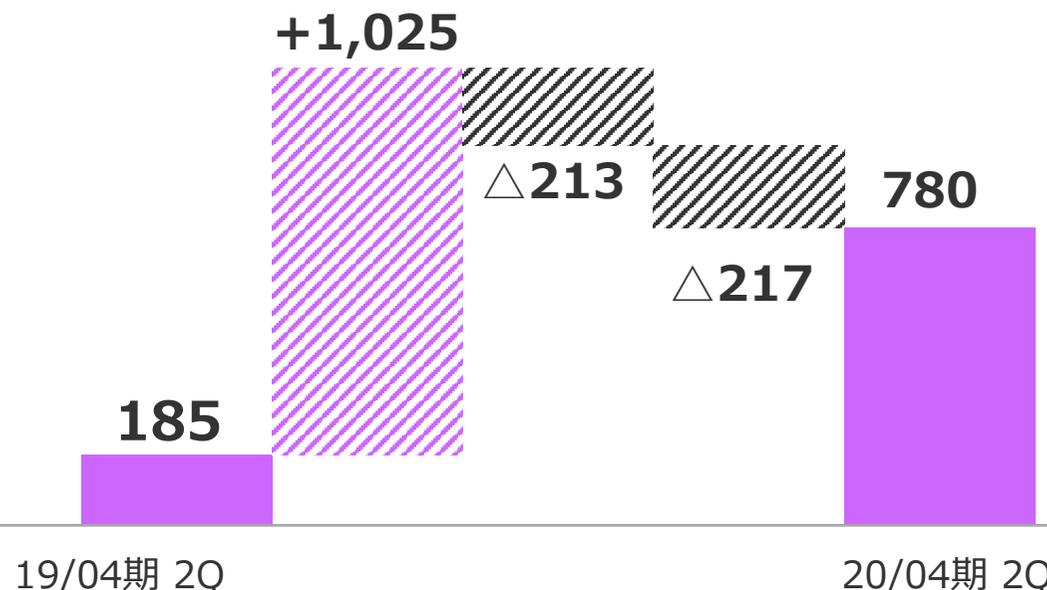
(単位：百万円)

### 売上高・セグメント損益

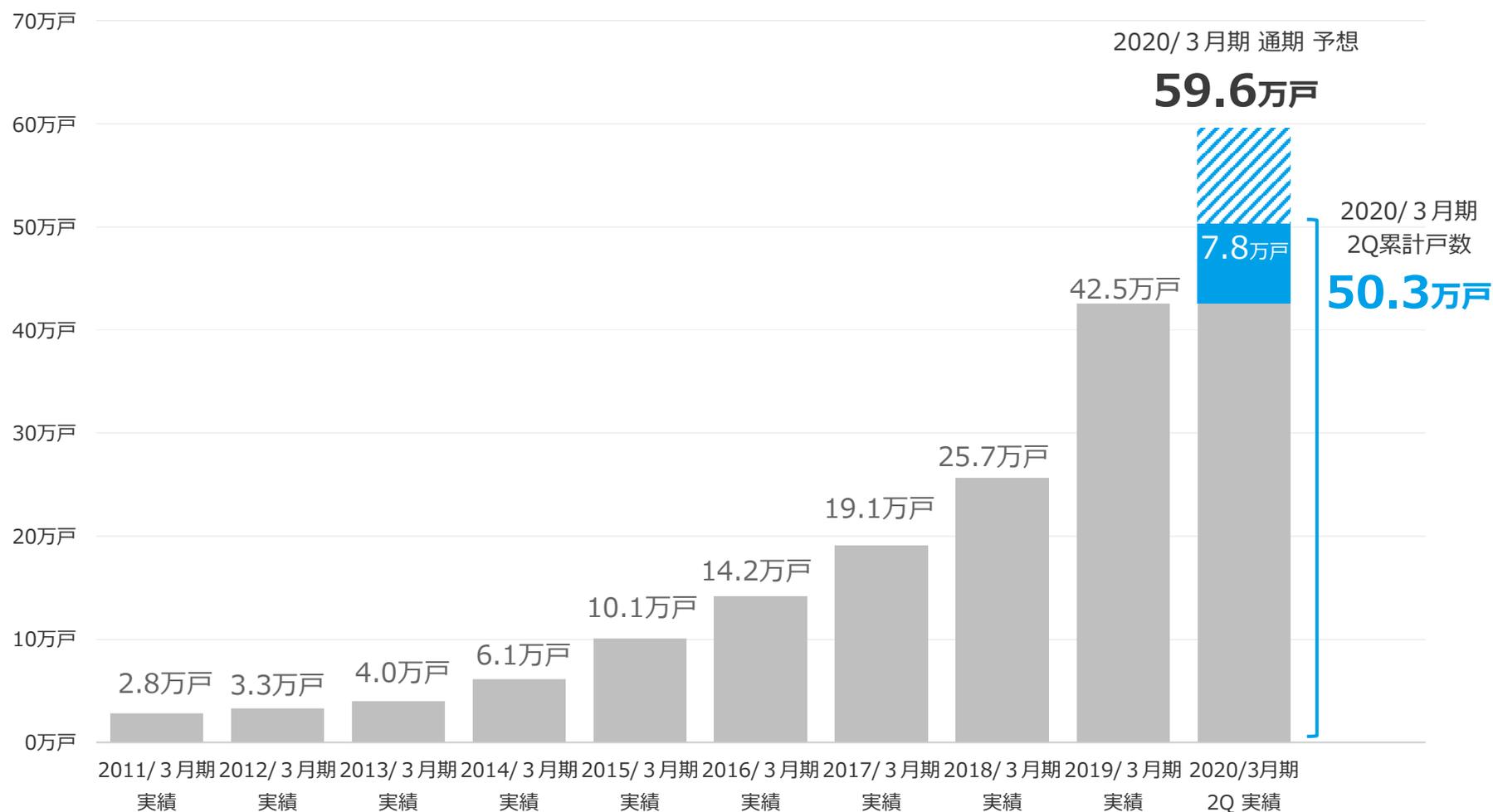
### セグメント損益前期比差異分析



- +1,025** GPG売上増による粗利増
- $\Delta 213$  GPG販管費増
- $\Delta 217$  新規事業等への先行投資による事業損失

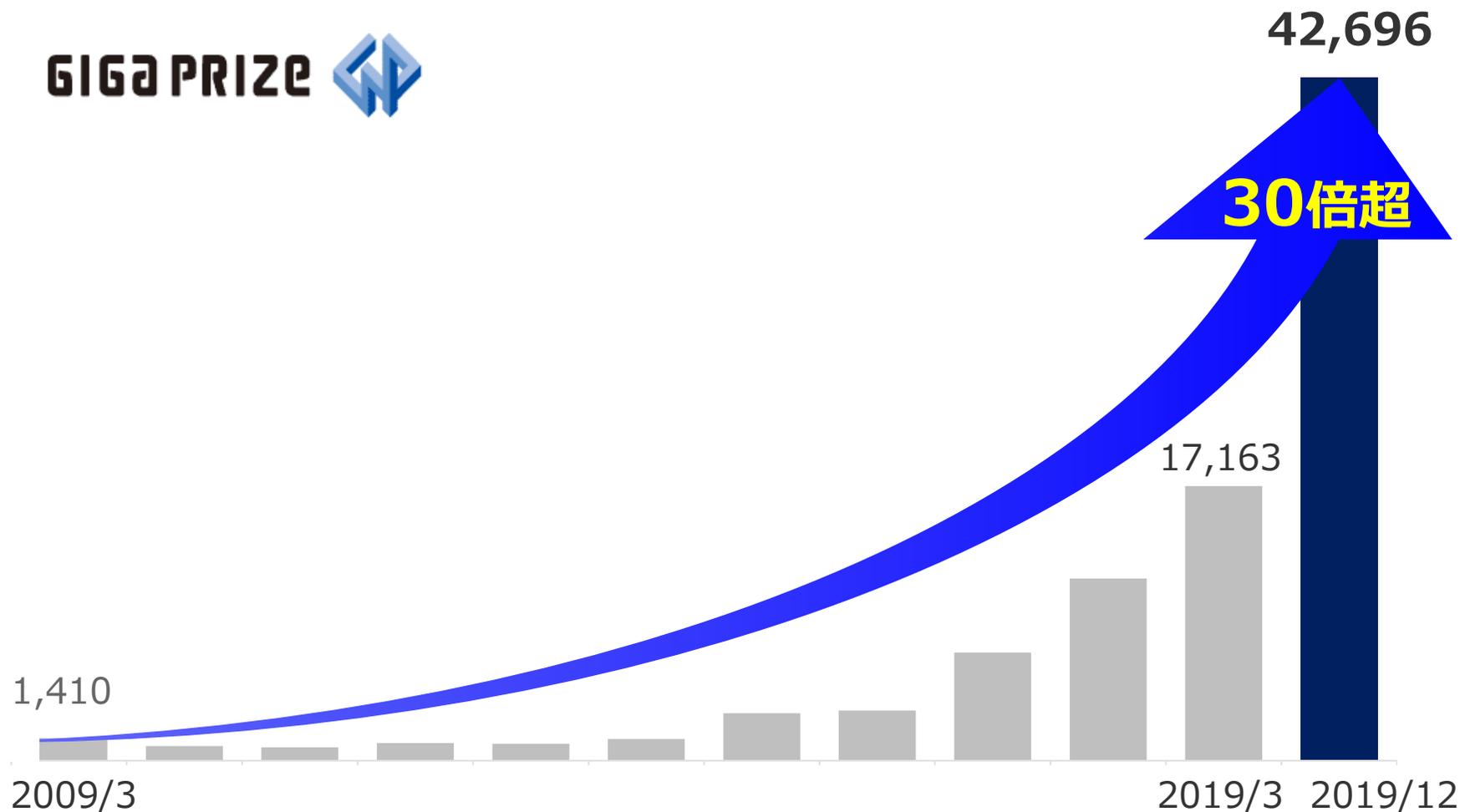


サービス提供戸数は、前年同期比18.3%増の50.3万戸を達成  
今期予想累計戸数59.6万戸に向けて順調に推移



## 時価総額が買収時の30倍超となる企業に成長

(単位：百万円)



※2019年12月は12月12日時点の  
終値をもとに算出した時価総額

## ユーザーニーズに応える新サービスを提供開始

新サービス「SPES」などにより、既存物件への集合住宅向けISPサービス導入の加速化を図る

### 9月26日発表

#### 世界初 集合住宅向けISP新サービス「SPES（エスピーイーズ）」を発表

「SPES」は、既存物件へのサービス導入にかかる時間的コストや費用等を縮小し、短期間でインターネット接続を可能とするサービスで、2020年1月末より販売開始予定



### 10月1日発表

#### ミサワホーム向けISPサービス「ベルリード・ネット」サービス開始

「ベルリード・ネット」は、24時間365日のサポート体制を有し、快適なインターネットライフを提供する集合住宅向けインターネット接続サービス

#### ■「ベルリード・ネット」提供イメージ



## 前年同期比 売上高6.8%増、セグメント損益28.6%減

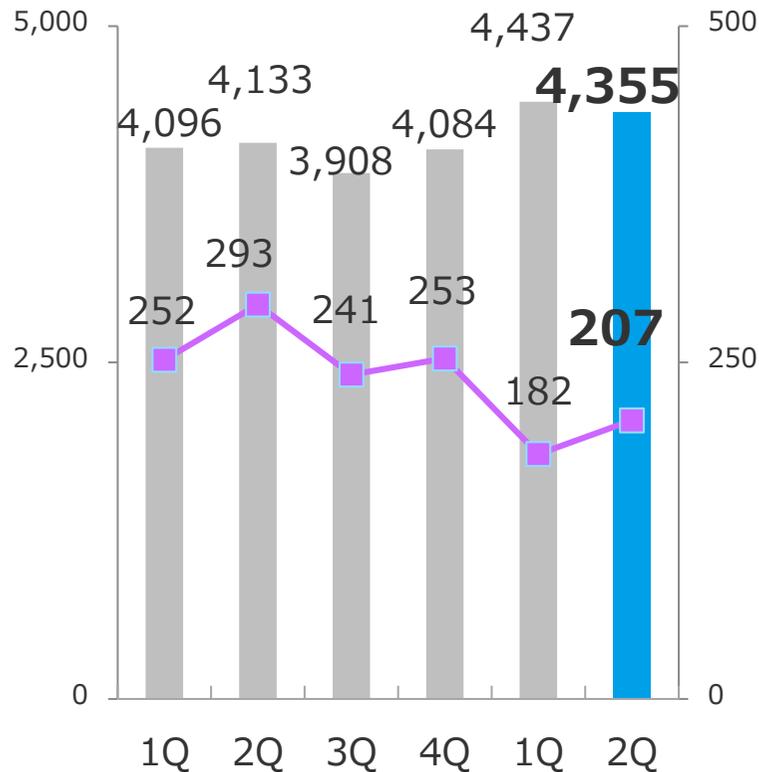
戦略ドメイン領域への先行投資により減益

(単位：百万円)

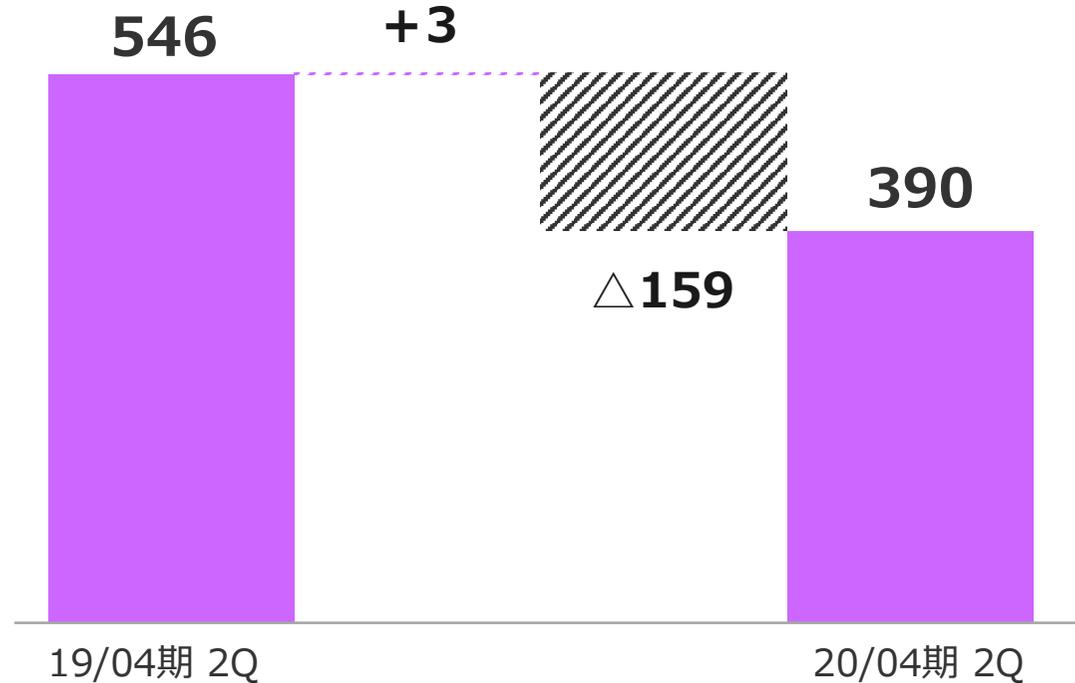
### 売上高・セグメント損益

### セグメント損益前期比差異分析

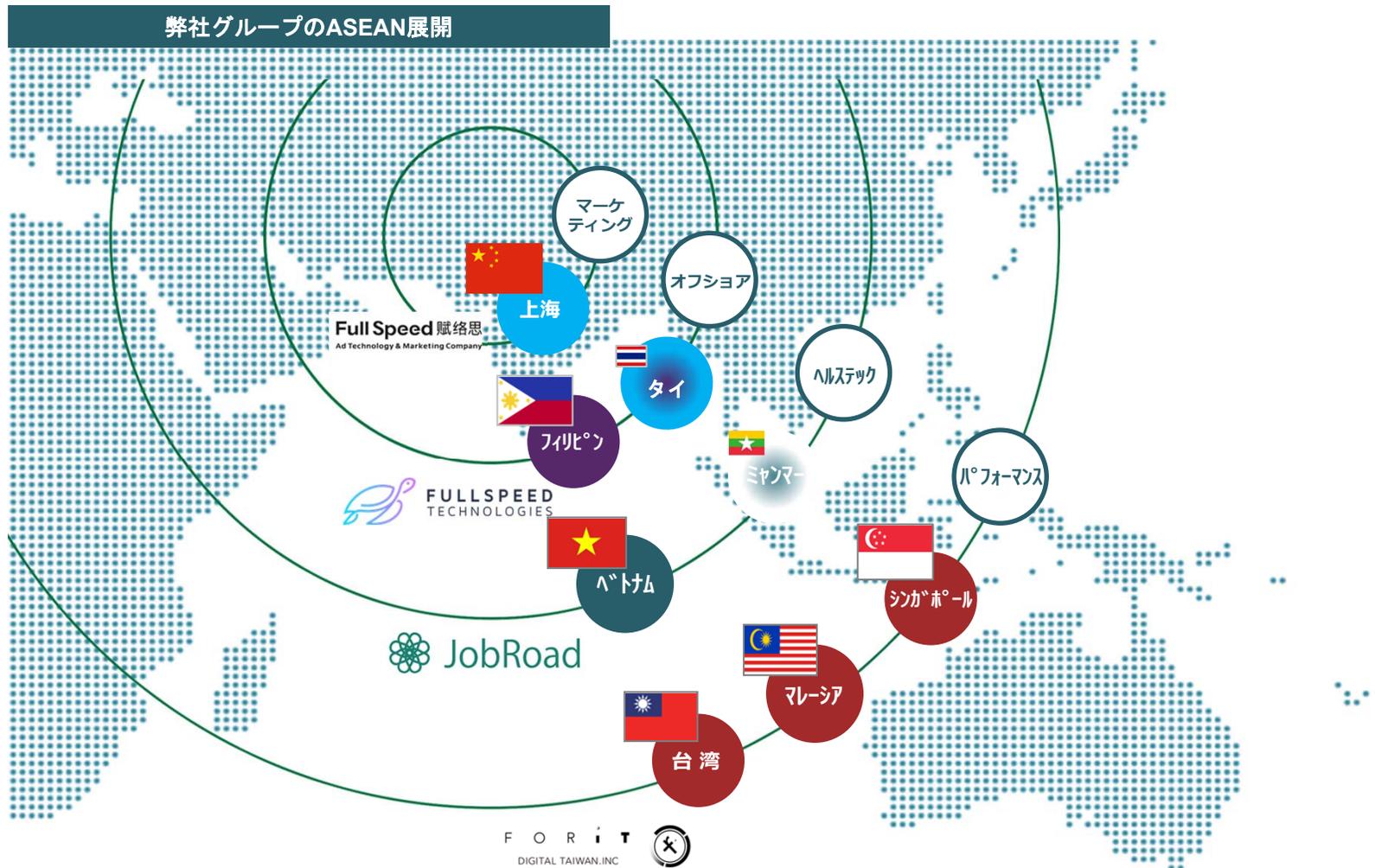
■ 売上高    ■ セグメント損益



**+3** FSG売上増加に伴う粗利増等  
**△159** FSG人件費及び業務委託費増等



## 戦略ドメイン「クロスボーダー領域」における事業へ注力





## グローバル版アフィリエイトプラットフォーム「Webridge」

日系企業の海外進出、海外企業の日本進出のマーケティング支援を実装

2019.12月 β版リリース

**Webridge**  
powered by afb

Advertiser Publisher Company Overview Contact Language: English

### Grow With Your Business

We have been at the forefront of Japanese affiliate marketing for more than 10 years. We are not only a platform, but also have the know-how as an agency. With the customer-first spirit, we provide Webridge's affiliate marketing solution to help our clients to extend their sales channel.

around 917,700  
Total number of registered sites

around 11,100  
Total number of promotions

Get started with Webridge

**今後はアジア圏だけでなく  
アメリカやヨーロッパ各国・地域へと拡大予定**

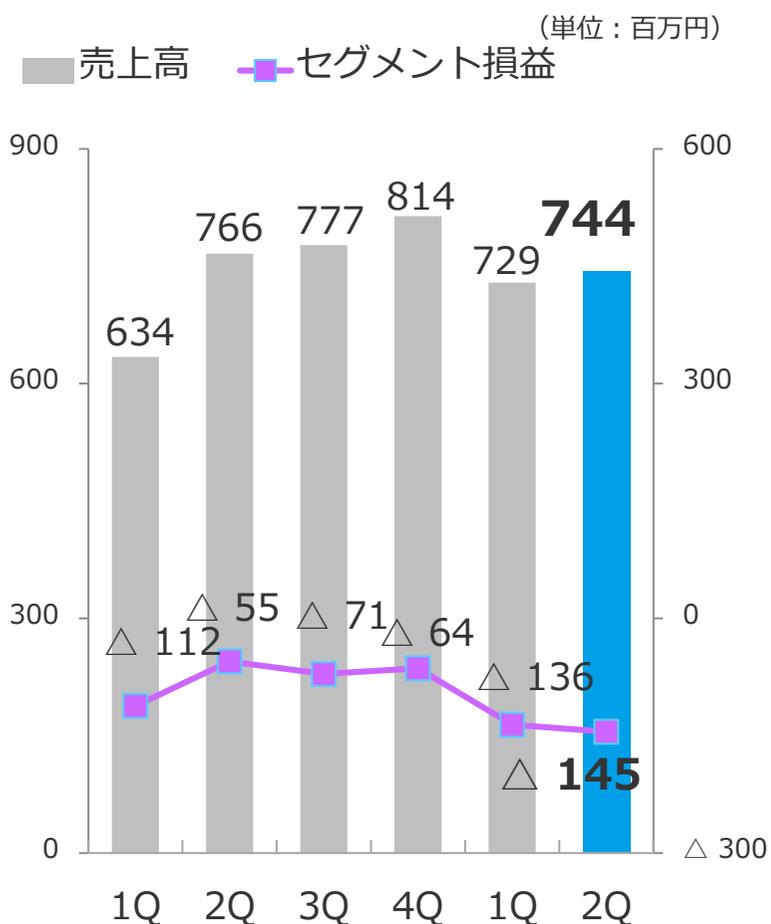


## FBEPHの成長により売上高は前年同期比5.2%増を達成

FBヘルステック事業の体制強化等により、セグメント損益は前年同期比114百万円減

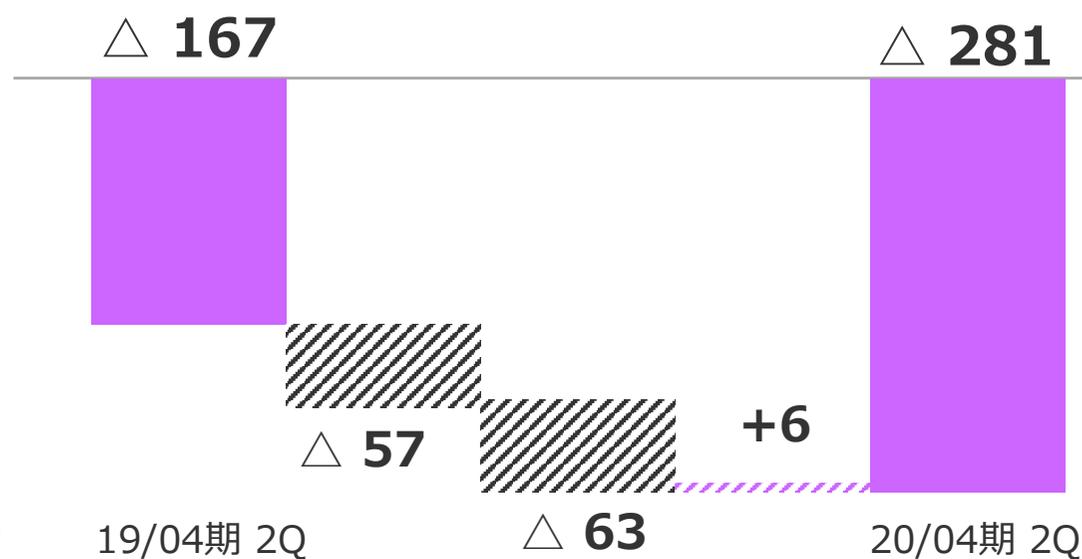
(単位：百万円)

### 売上高・セグメント損益



### セグメント損益前期比差異分析

- △57 FBEPH一時収益の減少等
- △63 FBヘルステック事業の体制強化
- +6 その他



## 月間薬局予約件数は順調に推移



薬局 & ドラッグストア検索・予約サイト

### くすりの窓口コンテンツ

処方箋  
ネット受付



おくすり  
宅配予約



くすりの窓口  
クーポン



ジェネリック  
検索



### ファーマシーサポートの6つの機能

予約管理



お薬手帳  
管理



顧客管理



決済機能



経営支援



みんなの  
お薬箱



### 月間薬局予約件数



Pharmacy  
Support



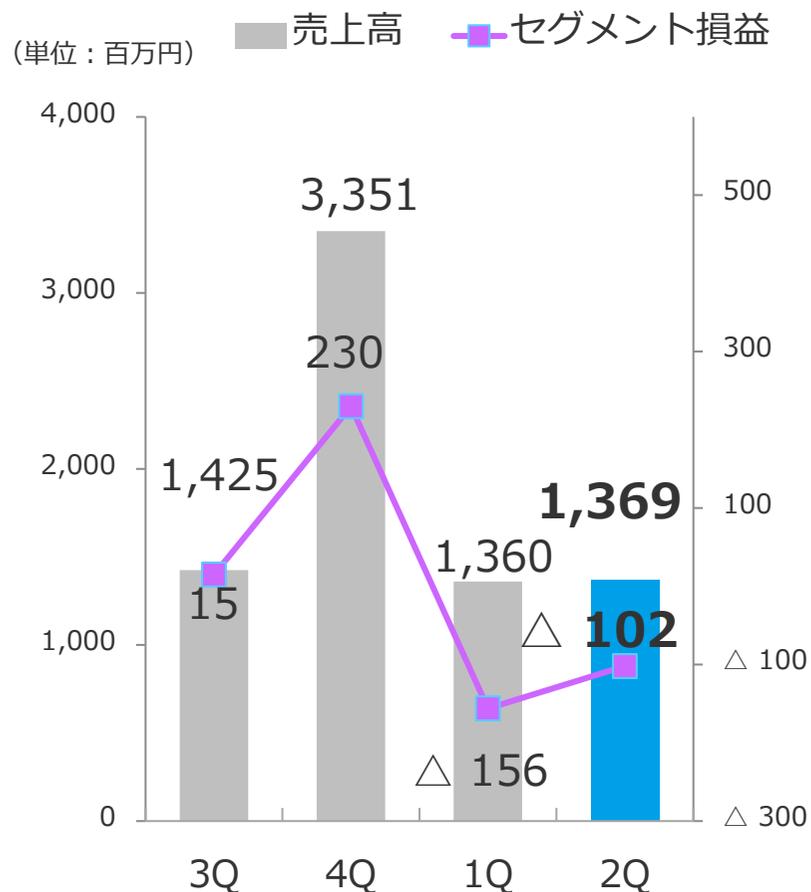
## 「EPARKお薬手帳」は累計ダウンロード数90万件を突破



## 語学教育関連書籍の販売及び研修事業が堅調に推移

第4四半期に利益が集中するビジネスモデルのため通年では黒字を計画

### 売上高・セグメント損益



スマートスピーカー、タブレット端末及びサブスクリプション型サービスへの語学教育コンテンツの提供に注力



※2019年4月期は、アルクの決算期変更に伴い  
4Qに11月～4月までの6カ月分を計上

### 3. 2020年4月期 連結業績進捗

---

# Being The NET Frontier!

インターネットをひろげ、社会に貢献する

## インフラテック

- ・アルプスアルパイン(株)と連携し、CASE/MaaS市場への取り組みを加速
- ・コンシューマー向けIPv6(IPoE)接続サービスの新プランを発表
- ・「フリービットクラウドVDC」の拡販を強化

## 不動産テック

- ・マンションインターネットは、提携先大手ハウスメーカー向け提供戸数が増加。さらなる売上拡大を企図し、新サービス「SPES」を発表
- ・不動産事業はイオンハウジングネットワーク加盟店の店舗展開を促進

## アドテック

- ・インタラクティブ動画編集プラットフォーム「MIL」と戦略的資本業務提携を実施し、動画マーケティング領域を強化
- ・海外市場での販路構築やブランド醸成を目的に海外進出を検討する企業向けに多言語に対応したグローバル版アフィリエイトプラットフォーム「Webridge」ベータ版の提供を開始

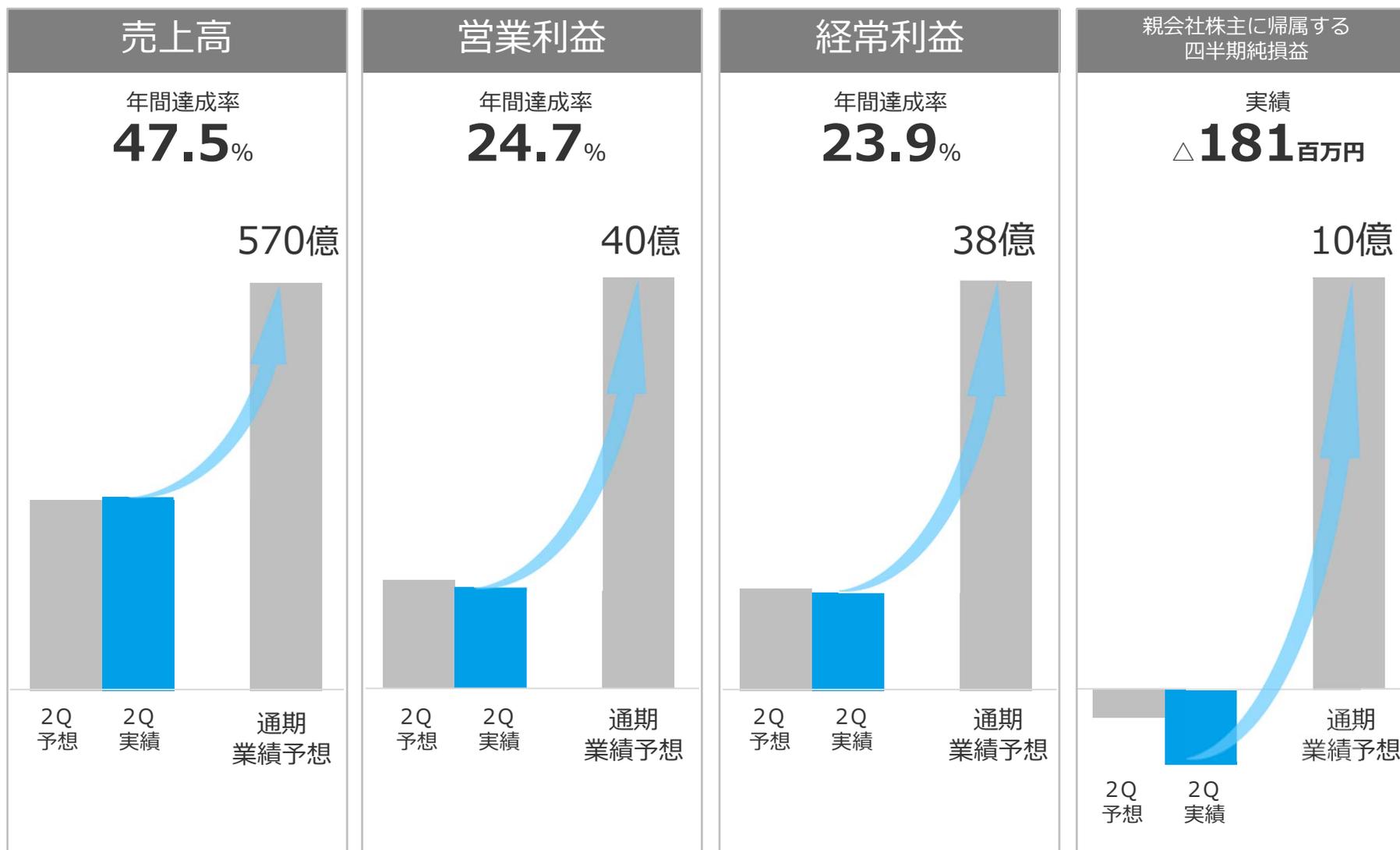
## ヘルステック

- ・「EPARKお薬手帳」のダウンロード数が順調に推移。普及を加速させメディアのPV数、集客数及び提携薬局数継続成長
- ・FBヘルステック事業において、グループシナジーを発揮し、介護施設向け介護記録システムの新機能を拡充
- ・医薬品の不動態在庫・共同購入事業が立ち上がり、3Qより収益に貢献

## エドテック

- ・語学教育書籍の販売及び研修事業が堅調に推移

## 第2四半期は、ほぼ計画通り進捗



本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提（仮定）を用いており、種々の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。本資料は、当社の事業戦略の説明資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

＜IR及び本資料に関するお問い合わせ＞

フリービット株式会社  
グループ経営管理本部 IR担当  
Email [freebit-ir@freebit.net](mailto:freebit-ir@freebit.net)  
WEB <https://freebit.com/>



毎日、発明する会社

※ すべてのブランド、製品名、会社名、商標、サービスマークは各社に権利が帰属します。